

2014年

安全報告書



わたらせ溪谷鐵道株式会社

1. お客様をはじめ、地域の皆様へ

平成26年度は、足尾鐵道全線開業100年、わたらせ溪谷鐵道開業25周年の記念すべき年でありました。5月22日には、天皇皇后両陛下の行幸啓において通洞から水沼まで「トロッコわっしー号」にご乗車されたこと、4両目となる新型車両WKT-502号（表紙右側車両）が導入されたことは、当鐵道にとっても沿線にとっても明るい話題であります。

さて、安全対策については、老朽化の目立つ車両及び線路設備・施設の維持管理に意を払い、日常の点検を着実に行うとともに安全管理に万全を期しています。また、社内で年3回の事故防止検討会及び2ヶ月毎に管理職会議を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱い等について意見交換や研修をしています。実設訓練も22年度から継続的に実施しており、26年度は草木トンネル内の列車事故を想定し、桐生市消防本部、桐生みどり消防署、みどり市消防団と連携し、また、一般市民も参加して合同訓練を行いました。設備整備については、26年度は軌道土木定期検査、軌道検測車による検査結果を受けての全般的な軌道設備、落石防止防護網・防護柵の設置、分岐器交換、まくら木交換、わ89-312号重要部検査等を実施しました。また、日光市からの補助事業により足尾駅舎、通洞駅舎改修工事を行い、両駅舎の待合室の内装及び外観を整備し明るい駅舎となりました。

今後も、お客様に安心してご利用していただけるよう、経営トップを中心に社員一人一人が力を合わせ、それぞれの責務を認識し、事故防止活動に取り組むとともに、公共交通機関としての使命を果たしてまいりますので、引き続き皆様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

わたらせ溪谷鐵道株式会社

代表取締役社長 樺澤 豊

2. 安全に関する基本方針

(1) 基本方針

輸送の安全確保を図ることは、鐵道事業に携わる当社にとって重要な使命であり、会社経営の原点でもあります。この認識のもとに当社は、「安全で安心した輸送」を最重要項目とし、法令遵守と、危機管理体制を強化し、更なる安全性の向上を図るとともに、「連携と実績で果たす安全安定輸送」を事故防止活動のスローガンに、社長以下全社員で取り組んでまいります。

(2) 安全目標

運転事故など大きな事故はもちろん、お客様にご迷惑をおかけする輸送障害についても、最大限防止することを目標とします。

(3) 重点実施項目

- ・事故防止管理体制の確立
- ・責任ある作業体制の強化
- ・車両、設備の故障防止
- ・教育訓練の充実

◆ 安全管理体制の確立

社長の強力なリーダーシップのもとに、機動性のある安全管理体制の確立を目指します。そのため、各部門が行う事故防止活動の具体的な実施計画を立て、その状況を点検しながら推進し、定期的を開催する事故防止検討会や、各部門の日常の業務においてもそれぞれの社員が問題意識を共有し、現場にフィードバックする体制を構築してまいります。

◆ 車両、設備の故障防止

使用状態に応じた保守管理の強化を図るとともに、更新、修繕、重要部品の計画的取替を推進し、信頼性の向上を図る。

◆ 自主的な事故防止活動の推進

春・秋の全国交通安全運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検にあわせ事故防止検討会を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱等について意見交換や研修を行い、自主的な事故防止活動を積極的に推進します。

<事故防止検討会>



3. 輸送の安全を確保するための取り組み

知識・機能教育を引き続き実施して技術力の強化を図るとともに、突発的な事故等異常時の取扱い、実技訓練を充実して実践力の向上を図ります。また、年度ごとに訓練項目を定め、本線、車両、施設を使用して関係機関とも連携しながら、全社員規模で参加する実設訓練を実施します。

実設訓練は22年度から継続的に実施しており、26年度は神戸駅～沢入駅間の草木トンネル内の列車事故を想定し、桐生市消防本部、桐生みどり消防署、みどり市消防団との合同訓練を実施しました。また、社員一人一人がより高い実践力を習得するため、JR 東日本高崎支社主催の総合復旧訓練にも参加しました。

<合同訓練>



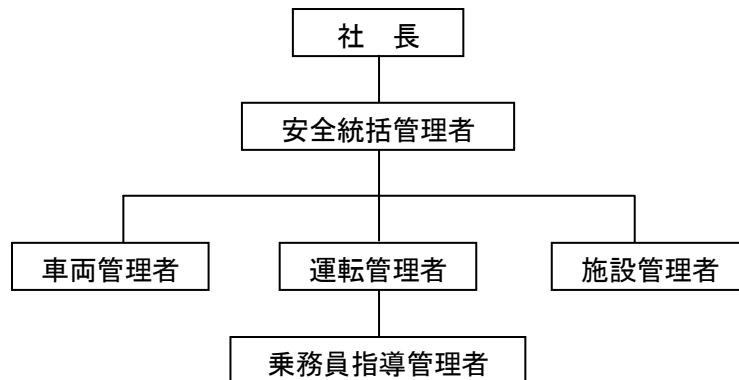
< J R 高崎支社総合復旧訓練 >



4. 当社の安全管理体制

安全管理規程を制定して、社長をトップとした安全組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	運転に関する事項を統括する。
施設管理者	軌道・施設に関する事項を統括する。
車両管理者	車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。



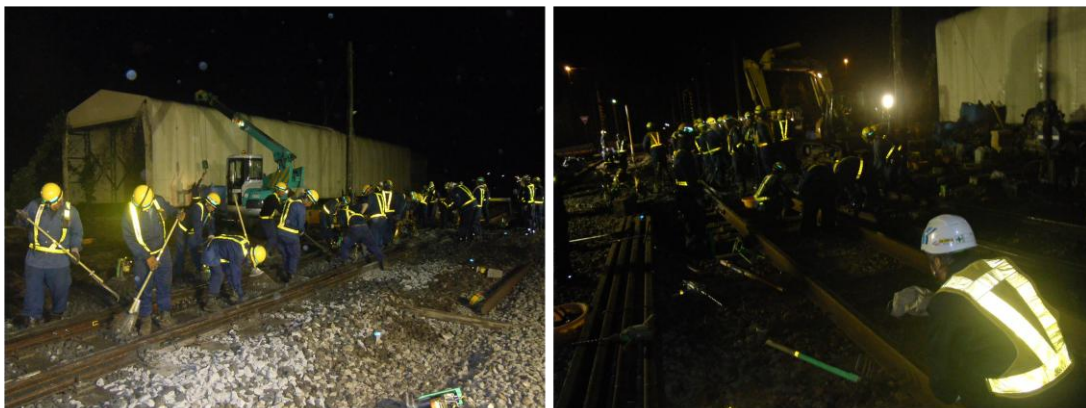
5. 運転事故・輸送障害の発生状況

年度別	運 転 事 故	輸送障害（列車が30分以上遅れたもの）	
	衝突・脱線・踏切事故	設備・車両等の故障	雨などの自然災害
22	0	3	4
23	0	4	6
24	0	4	4
25	0	11	6
26	0	4	5

平成26年度の運転事故及び輸送障害の発生状況については、運転事故の発生はなく、昨年を除けば輸送障害についても、例年どおりの発生状況となっております。

6. 安全対策実施状況

項 目	施 行 箇 所
【線路施設】 防護設備 線路設備（分岐器） レールの重軌条化 橋梁	落石防止防護ネット新設（4ヶ所） 落石防止防護柵設置（1ヶ所） 土留壁コンクリート補強（1ヶ所） 大間々駅構内（分岐器50N重軌条化） 沢入～原向間50N重軌条化 翼壁割石積コンクリート補強（1ヶ所） 石積橋台鋼板巻及び無収縮剤補強（1ヶ所）
【車両設備】 車両更新（新車両）	WKT-502号



<分岐器交換工事>

7. 安全報告書へのご意見に対す連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

群馬県みどり市大間々町大間々1603-1

わたらせ渓谷鐵道株式会社

TEL:0277-73-2110/FAX:0277-73-3121

URL <http://www.watetsu.com>/E-mail: watetsu@sufield.ne.jp